

ひなたぼっこ通信

2016年
9月号

「ひなたぼっこ友の会」から

「ひなたぼっこ友の会」は正式な設立に向けて準備を進めています。

会員数も50名程となりました。利用したいという方やボランティアの方、何も出来ないけど応援するといった方など、友の会に期待をかけて下さった方々が加入して下さっています。

主な活動は、買物や病院の送迎・付き添い、庭木の剪定、電気傘の掃除など日常の「ちょっとした頼みごと」のお手伝いをすることです。お願いする方もお手伝いする方も、友の会の会員になって頂くことが必要で、会員同士の助け合いです。



会が充実してきたら、いつもはお願いばかりしている会員さんも得意分野を發揮していただき、会員同士の趣味の交流活動が盛んになること期待しています。人助けをして「ありがと、あなたのおかげで助かったわ!」の言葉に、心が浄化された気持ちでいます。何気ない一日の生活の中に、人のためにお役に立てる時間を設けることは、生活に張り合いが出ます。

頼み事がある方、ボランティア協力頂ける方、何もできないけど応援・賛同いただける方、入会をお待ちしております。

会費は、入会金500円、年会費無料です。ボランティアは有償ボランティアで30分300円、1時間500円です。お問合せは、**担当手嶋**まで。

宅老所から

① 新しい送迎車が仲間入り

今月から、宅老所で新しい送迎車での送迎がスタートしました。青いボディがかっこいい、車種はマツダのプレマシーです。

今まで送迎で活躍していた日産のリバティと同じ7人乗りですが、車体は少し大きくなり、カーナビも付いていて、宅老所で一番高級感のある車となりました。

利用者様に乗ってみた感想を伺うと、「乗り心地いいよ!中も広いし新車みたいだね!」と絶賛。とても喜ばれています。



② アサガオの開花

宅老所所のベランダに、青と紫の色が美しいアサガオの花がついに咲き始めました。6月にプランターに植えた苗からつるがぐんぐん伸び、今では高さ2mを超えています。

つい先日の朝、ふと外を見ると黒アゲハ蝶がアサガオの花にとまり、蜜を吸いに来ていました。

珍しい来客に思わず手を止め写真を1枚パシャリ。少々見入ってしまった。このあたりにも黒アゲハ蝶が来るのだと、感動した朝となりました。

お花があると、やはり雰囲気もパツと明るくなります。利用者様も職員

も毎日アサガオの花に癒されています。



グループホームから

① 1階「おっこつ祭り」

これまで、なかなか行くことが出来なかった「おっこつ祭り」に今年には行く事が出来ました。とても暑い日で、車から出る前に麦わら帽子をかぶって準備万端です。

町の祭りは、グループホームの祭りなどと比べて、やっぱり規模が違います。利用者の方も「どこからこんなに人が来るの?」と驚いていらつしやいました。浴衣を着た小さな子どもを見ては「かわいいね!」「食べちゃいたい♡」とおっしゃったり、小学生くらいの子どものを見ては「お姉ちゃん、年はいくつ?」と尋ねられたりと、テンションもお祭り気分になっていかれました。

出店も沢山出でて、「何か食べたいね!」「何がいいかね!」と言いながら・・・結局、みんなに内緒で、あれと、これと、それを、あつという間にみんなで完食してしまいました。お昼ご飯を

食べてから来たというのに！びっくりです。夏バテの心配もどこかに吹き飛んでいきました。来年もまた、みんなで行きましょね。

②「夏の収穫祭」

2階では、8月22日の朝食後、ご利用者様の方々の何人かと”ひなたぼっこ農園”へ出かけました。お天気もよく、キュウリ、ナス、オクラ、ピーマン、とうもろこし・etc.夏野菜がたくさんとれました。畑をされていた方が多く、昔取った杵柄、手際よくザルいっぱい抱えられて、ホームに戻られました。それから、さっそく、調理のはじまりです。ご利用者様、職員がいっしょに、ナスとピーマンの味噌炒め、キュウリとナスのお漬物、オクラのおかか和えなどをつくりました。とうもろこしはシンプルにゆでました。キッチンにはぎやか、歓声でいっぱいでした。昼食はいつものメニューに何品もおかずが増えました。とうもろこしは”3時のお茶”に召し上っていたいただきました。さながら”夏の収穫祭”でした。喜んでいただけてよかったです。

ケアハウスから

①「花のある生活」

ケアハウスでは、ふと気づけば、いつも綺麗な花がそこかしこに飾られています。花の好きな職員が家から持



って来たり、利用者さんが畑で育てたりした花が、施設内の所々に飾られています。

なかでも今季は、利用者様のSさんが畑で育てたグラジオラスが見事で、花もちもよく、長い間みんなの目を楽しませてくれました。

花を持ってくる人は、時々花の手入れもしてくれています。そんな小さな心遣いが有難いと思います。「きれいな花だね。」なんていう名前だそう。「と花をきっかけにして会話の輪も広がっています。沢山咲いた花をバケツに入れて玄関に置き、「自由にお持ちください」と張り紙をしました。すると、わずかの時間に花はなくなっていました。きっと、何人かの利用者様の部屋で、利用者様の心を和ませていることでしょう。

②「生まれ変わるテニスボール」

食堂の椅子の足元が一新しました。ある職員の所属しているテニスサークルから、古くなったボールを譲り受けて、椅子の足元に取り付けたのです。

「ギーギーいわなくなっただ。」「静かだね。」「動かすのも軽いよ。」と利用者の方々からは大歓迎です。

それに、白黒では分かり辛いですが、ボールの鮮やかな蛍光色の黄緑が、椅



椅子のシートの黄緑とマッチして美しいことはいつたらないのです。もし嘘と思う人が居たら、一度2階の食堂に来て、すうりと並んだ黄緑の足元を見てください。ホーツとため息をつくはずですよ。それに、テニスボールたちも、コートでの役割を終えて、今度は高齢者のみなさんの役に立て、きつと喜んでいいることでしょう。

ひなたぼっこランチのご案内

9月8日(木) 9月17日(土)

両日とも10時から1時半までです。ランチ代はおひとり400円です。

ご希望の方は送迎も致しますので、多くの方のご参加をお待ちしています。血圧測定・健康相談・介護相談・小物作りなども行います。

お申込みは宅幼老所 山下までどうぞ

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336